

WKCフォーラム 「最前線を担う看護師 ～グローバルヘルスにおける役割と展望～」

2020年世界保健デー「看護師・保健師と助産師を支援しよう」記念

2020年11月23日(月・祝) 13:00-16:00 オンライン・フォーラム

主催：WHO健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）

共催：WHO神戸センター協力委員会

協力（五十音順）：関西国際大学 神戸市看護大学 国立国際医療研究センター 聖路加国際大学
東京検疫所 日本看護協会 兵庫県看護協会 兵庫県立大学

背景

世界保健機関健康開発総合研究センター（WHO神戸センター・WKC）は、WHOジュネーブ本部の一部局であり、国内外の学術機関、研究機関と連携してユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）ならびに災害・健康危機管理（Health EDRM）に関するグローバルヘルス課題を解決する政策研究に従事しています。阪神淡路大震災の復興のシンボルとして兵庫県、神戸市の協力で設立された経緯から、地元を中心とした地域貢献も行っており、WHOの設立を記念する世界保健デーのテーマにちなんだフォーラム（一般向け、専門家向けを含む）も毎年開催しています。

2020年の世界保健デーのテーマは「看護師・保健師と助産師を支援しよう (support nurses and midwives)」であり、看護師、保健師、助産師は、UHC実現に向けて、また、感染症の発生や自然災害がもたらす健康危機においても、保健医療の最前線の業務に従事する不可欠な役割を果たしており、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応でもその貢献が再認識されています。

このような背景に鑑み、WHO神戸センターは、グローバルヘルスにおける看護師、保健師、助産師の役割や貢献をハイライトするとともに、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応に関連する様々なケーススタディ、そして健康危機管理を見据えた看護教育について検討するオンラインのフォーラムを、日本の関係機関と連携して開催します。

開催目的

- ・ グローバルヘルスおよび地域の保健医療における看護師、保健師、助産師の役割について理解を深め、その貢献について周知する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策を含む健康危機に対する看護師、保健師、助産師の貢献についてのケーススタディ、ベストプラクティスを共有する。
- ・ 健康危機管理を見据えた看護教育について検討し、学生や若手の育成に貢献する。

期待される成果

- ・ 看護師、保健師、助産師の貢献をハイライトし、その重要な役割について当事者および一般の理解と関心が深まり、平時、有事の保健医療への理解と協力が深まる。
- ・ 最前線での業務に従事する上での重要な教育、訓練の要素について知見が深まる。
- ・ 健康危機管理と看護教育に関する共同研究等の可能性がうまれる。

参加申し込み方法（参加費無料）

下記 URL オンライン・エントリーシートからお申し込みください。

<https://ez-entry.jp/wkcforum2020-Nov/entry/>

参加登録締め切り：11月20日(金) 17:00

プログラム

13:00-13:10

開会挨拶

- WHO神戸センター 所長 サラ・ルイズ・バーバー (ビデオメッセージ 日本語字幕付)
- 兵庫県看護協会 会長 成田 康子

13:10-14:10

第1部：グローバルヘルスと看護

－The State of World's Nursing Reportから見える日本の看護人材の現状と課題－

国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、WHO神戸センターと協力して、2020年の世界保健デーに発行された「State of World's Nursing 2020 Report」の日本語版を作成した。このWHO報告書の内容をベースに、日本の看護人材の現状と課題について講演、パネルディスカッションを行う。

座長：

NCGM 国際医療協力局 人材開発部 広報情報課長 田村 豊光

13:10-13:15

ビデオメッセージ（日本語字幕付）

WHOチーフ・ナーシング・オフィサー エリザベス・イロ

13:15-13:25

講演：「The State of World's Nursing Reportの概要」

NCGM 国際医療協力局 看護師 駒形 朋子

13:25-13:45

講演：「いのち輝くすこやかな未来をつくる、看護職のはたらき」

参議院議員 元厚生労働副大臣 ^{たかがい}高階 恵美子

13:45-14:10

パネルディスカッション

4名のパネリストによる討議

パネリスト：日本看護協会 常任理事 荒木 暁子

聖路加国際大学大学院 国際看護学 教授

WHOプライマリヘルスケア看護開発協力センター センター長 大田 えりか

千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 特任研究員

千葉大学大学院 医学薬学府 学生 櫻庭 唱子

NCGM国際医療協力局 駒形 朋子

14:10-14:20

休憩

14:20-15:50

第2部：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応における看護の役割

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への看護職の対応について、医療機関、保健所、検疫所等から対応の実態を報告いただき、パンデミックによる健康危機管理状況下での看護の役割や今後の課題について検討する。

座長：

兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授 災害健康危機管理WHO協力センター センター長 増野 園恵

14:20-14:30

講演：「病院看護における感染対策と現場のチャレンジ」

兵庫県立尼崎総合医療センター 看護管理室 感染管理認定看護師 大迫 ひとみ

14:30-14:40

講演：「COVID-19パンデミック渦における看護管理～医療従事者の権利、役割、責任を果たすために～」

神戸大学医学部附属病院 看護部管理室 副看護部長 岡本 規子

14:40-14:50

講演：「検疫所の活動とCOVID-19 看護の視点から」

東京検疫所 検疫衛生課 看護師 鈴木 真奈美

14:50-15:00

講演：「保健所の活動とCOVID-19 保健師の視点から」

神戸市保健所 予防衛生課 担当係長 保健師 小寺 有美香

15:00-15:10

講演：「在宅看護におけるCOVID-19対応とその課題」

神戸市看護大学 在宅看護学 教授 片倉 直子

15:10-15:20

休憩

15:20-15:50

パネルディスカッション

第2部演者による討議

15:50-16:00

総括・閉会挨拶

- 総括：神戸市看護大学 学長 WHO神戸センター名誉顧問 南 裕子
- 閉会挨拶：WHO神戸センター医官 茅野 龍馬（司会進行）